

2021年（令和3年）度定時社員総会議事録

日時：2021年3月27日（土）15:15～16:10

会場：一般財団法人口腔保健協会 302会議室

開会の辞

渡辺常務理事より、事前に寄せられた書面評決状の総数231通（第1～8号議案について賛成231、反対0）、委任状なしでの総会出席者5名により総数236名であり、代議員総数302名の過半数（152名）を上回ることから、定款30条の定足数を満たし、社員総会が正式に成立することが報告され、開会の辞が述べられた。

議長選出

渡辺常務理事より、定款33条に基づき、理事会において第126回全国学術集會会頭である木山博資を議長に選出したことが報告された。

I. 議事録署名人の選任

渡辺常務理事より、定款34条に基づき議事録署名人として監事の藤本豊士（順天堂大）と、宮田卓樹（名古屋大）が推薦され、承認された。

II. 理事長報告

八木沼理事長より下記の通り報告があった。

1年間新型コロナウイルス感染症に翻弄された。第125回全国学術集會は急遽誌上開催となり大変な状況であったが、篠田会頭に感謝申し上げたい。第126回全国学術集會も、対面開催かオンライン開催か難しい選択になったが、結果としてオンライン開催となった。木山会頭に感謝申し上げるとともに、実り多い学術集會となることを期待したい。この1年の学会としての対応は、令和2年3月に「危険性のある感染症を伴うご遺体の取扱いに関する日本解剖学会の指針」を発出、令和2年4月と8月には、「新型コロナウイルス感染症に対する各大学の対応と解剖学教育への影響に関する緊急アンケート」を実施し、結果をホームページに掲載した。令和3年1月には、「新型コロナウイルス感染予防に配慮した肉眼解剖学実習・組織学実習の実施にかかる提言」を発出した。このような状況下であっても、各大学で工夫して解剖学教育の機会を提供していることに感謝したい。支部学術集會の開催については、実施のためのガイドラインを発出し、各支部で誌上またはオンラインで開催された。APICA2020は北京での開催が予定されていたが、延期の後、中止となった。2022年のAPICAは日本解剖学会が開催国として立候補したが、ニュージーランドとオーストラリアが開催国として選ばれた。ASIについては、投稿数が多く、IFも維持されている。編集委員会に感謝申し上げたい。

III. 報告事項

以下1～8について、渡辺常務理事より資料に基づき報告された。

1. 会員状況

2020年12月31日現在の会員状況は、正会員1,883名、名誉会員46名、永年会員166名、賛助会員22名、団体会員48名、寄贈会員24名である。

2. 物故会員

資料に基づき以下13名の物故会員氏名が奉読され、出席者全員により黙祷が捧げられた。（敬称略）

氏名	逝去日	会員種別	備考
古橋 九平	H27. 6. 26	名誉会員	朝日大学・名誉教授
糟谷 清	R元. 11. 25	正会員	日高町立富川国民健康保険診療所・所長
曾爾 彊	R 2. 3. 14	名誉会員	名古屋市立大学・名誉教授
瀬口 春道	R 2. 6. 8	名誉会員	高知大学・名誉教授
長島 聖司	R 2. 6. 16	永年会員	長崎大学・名誉教授

すずき たかし 鈴木 孝司	R 2. 6. 25	名誉会員	東京農工大学・名誉教授
たかはし かずと 高橋 和人	R 2. 7. 30	名誉会員	神奈川歯科大学・名誉教授
さとう やすし 佐藤 泰司	R 2. 8. 12	名誉会員	杏林大学・名誉教授
かさい たつお 河西 達夫	R 2. 11. 5	名誉会員	弘前大学・名誉教授
おだじまごろう 小田嶋梧郎	R 3. 1. 15	名誉会員	岡山大学・名誉教授
かわむら こうき 川村 光毅	R 3. 1. 15	名誉会員	慶応義塾大学・名誉教授
うえむら まさのり 植村 正憲	R 3. 1. 19	永年会員	鹿児島大学・名誉教授
せんば てるひこ 仙波 輝彦	R 3. 3. 7	名誉会員	鹿児島大学・名誉教授

3. 教授就任による新代議員紹介

資料に基づき、以下9名の教授就任による新代議員が紹介された。(敬称略)

氏 名	教授就任日	所 属
やまぐち あつし 山口 淳	H29. 4. 1	千葉大・医・機能形態学
いちむらこういちろう 市村浩一郎	R 2. 4. 1	順天堂大・医・解剖学・生体構造科学
おかだ やすし 岡田 康志	R 2. 4. 1	東京大・医・細胞生物学・解剖学
はやし しょうご 林 省吾	R 2. 4. 1	東海大・医・生体構造機能学
ほそや あきひろ 細矢 明宏	R 2. 4. 1	北海道医療大・歯・組織学
よしむら けん 吉村 建	R 2. 4. 1	日本歯大・新潟歯・解剖1
わたべ こういち 渡部 功一	R 2. 4. 1	久留米大・医・解剖学・肉眼・臨床解剖部門
そのむら たかひろ 藺村 貴弘	R 2. 5. 1	朝日大・歯・解剖学
しばた しんすけ 芝田 晋介	R 3. 1. 1	新潟大・医・顕微解剖学

4. COVID-19対応について

資料に基づき、以下の報告があった。令和2年3月に「危険性のある感染症を伴うご遺体の取扱いに関する日本解剖学会の指針」を発出した。なお、指針の作成にあたっては、労働安全衛生総合研究所の吉川徹氏ならびに東京大学医科学研究所の四柳宏氏による労働衛生ならびに感染症の専門的立場からの指導監修を受けており、感謝が述べられた。

また、同年4・8月に各大学の対応と解剖学教育への影響に関する緊急アンケートを実施し、結果を学会ホームページに掲載した。また、肉眼解剖学実習および組織学実習に関する提言を作成し、学会ホームページに掲載した。本件報告書は解剖学雑誌96巻への掲載を予定している。

5. 学会ホームページ一般向けコーナー「解剖学ひろば」公開について

資料に基づき、以下の報告があった。学会ホームページ一般向けコンテンツ「解剖学ひろば」を令和2年10月1日に開設した。未公開論文・随筆等の投稿ルールを定め、アウトリーチ委員会を中心に今後もコンテンツの充実を図っていく。

6. 技術職員の現状と課題について

資料に基づき、以下の報告があった。平成30年11月に全国の医・歯学部を有する大学に現状についてアンケートを実施し、結果を学会ホームページおよび解剖学雑誌95巻（令和2年9月発行）に掲載した。関係諸機関への働きかけは引き続き検討中である。

7. 「死体解剖資格申請に関する日本解剖学会としての指針」策定について

資料に基づき、以下の報告があった。厚生労働省医道審議会が所管している死体解剖資格の認定に関し、系統解剖領域において、申請者の質の担保に資するものとして一定の指針を解剖学会で作成した。

8. その他
特になし。

IV. 審議事項

1. 新永年会員の件

資料に基づき、渡辺常務理事より以下の12名が永年会員として推薦され、承認された（五十音順、敬称略）。

氏名	所属（職名は申請時点）	備考
相澤 信	日本大・医・機能形態学・生体構造医学（教授）	永年会員推薦規約（1）
上田 秀一	獨協医大・解剖学（組織）（教授）	永年会員推薦規約（1）
臼田 信光	藤田医大（名誉教授）	永年会員推薦規約（1）
大塚 愛二	岡山大・医・人体構成学（教授）	永年会員推薦規約（1）
栗原 秀剛	藍野大・医療保健・理学療法学（教授）	永年会員推薦規約（1）
小路 武彦	長崎大・医・組織細胞生物学（教授）	永年会員推薦規約（1）
中島 裕司	大阪市大・医・器官構築形態学（教授）	永年会員推薦規約（1）
中村桂一郎	久留米大・医・解剖学・顕微解剖・生体形成（教授）	永年会員推薦規約（1）
中村 雅典	昭和大・歯・口腔解剖学（教授）	永年会員推薦規約（1）
藤本 豊士	順天堂大・医・老人性疾患病態・治療研究センター（特任教授）	永年会員推薦規約（1）
真鍋 義孝	長崎大・歯・顎顔面解剖学（教授）	永年会員推薦規約（1）
山下 敬介	三原病院	永年会員推薦規約（1）

2. 申請による代議員の件

資料に基づき、渡辺常務理事より以下の3名が代議員として推薦され、承認された（五十音順、敬称略）

氏名	所属等（申請時）	入会年	推薦代議員
橋本 龍樹	島根大・医・臨床看護学（教授）	1989	大谷 浩
深谷 昌弘	北里大・医・解剖学（准教授）	1999	阪上洋行
目黒 玲子	新潟大・医・保健学・検査技術学（教授）	1986	竹林浩秀

3. 令和2年度事業および業務監査報告の件

①学術集会開催状況

以下の学術集会の開催状況が報告された。

全国学術集会	会 頭	開催期日	会 場
第125回全国学術集会	篠田 晃(山口大・医・機能神経解剖学)	3月25日～27日	誌面開催

支部学術集会	大会長	開催期日	会 場
第66回東北・北海道支部 連合	人見次郎(岩手医大・医・人体発生学)	9月5日～6日	Web開催
第108回関東支部	小池正人(順天堂大・医・神経機能構造学)	10月31日	Web開催
第80回中部支部	本田雅規(愛知学院大・歯・口腔解剖学)	—	誌面開催
第96回近畿支部	金井克光(和歌山県医大・解剖1)	11月14日	誌面開催 (評議員会は Web開催)
第75回中国・四国支部	COVID-19感染拡大により開催中止	—	—

第76回九州支部	小賤健一郎(鹿児島大・医・遺伝子治療・再生医学)	10月24日	Web開催
----------	--------------------------	--------	-------

②会議開催状況

以下の会議の開催状況が報告された。

会議名	開催期日	会 場	会議名	開催期日	会 場
常務理事会			理事会		
第1回	2月16日	口腔保健協会	第1回	2月17-28日	E-mail持ち回り
第2回	6月20日	口腔保健協会	第2回	3月 3- 4日	E-mail持ち回り
第3回	9月12日	口腔保健協会	第3回	3月 6- 9日	E-mail持ち回り
第4回	12月12日	A P東京八重洲通り	第4回	5月22-25日	E-mail持ち回り
			第5回	7月21-30日	E-mail持ち回り
			第6回	12月12日	A P東京八重洲通り
定時社員総会	3月27日	口腔保健協会	第7回	12月23-28日	E-mail持ち回り

③学会誌の刊行状況

a) 掲載論文数内訳

巻号	特集	寄書	新任教授紹介	追悼文	奨励賞受賞者紹介	その他	計
95	3	1	17	14	4	3	41

b) 頁数総計

巻号	特集	寄書	新任教授紹介	追悼文	奨励賞受賞者紹介	その他	計
95	24	2	28	28	8	8	50

④委員会報告

以下の委員会報告に関しては、社員総会資料を参照してもらうこととした。

- 1) 編集委員会
- 2) ASI編集委員会
- 3) 認定解剖組織技術者資格審査委員会
- 4) 解剖体委員会
- 5) 解剖学用語委員会
- 6) 海外交流委員会
- 7) 教育委員会
- 8) 若手育成委員会
- 9) アウトリーチ委員会
- 10) 学術委員会
- 11) 医療専門職教育委員会
- 12) 倫理・利益相反委員会
- 13) 男女共同参画推進委員会
- 14) 若手研究者の会

⑤研究の奨励及び業績の奨励

資料に基づき、令和2年度日本解剖学会奨励賞受賞候補者者(5名)と日本解剖学会認定技術者功労賞受賞候補者(1名)が報告され、了承された。

令和2年度日本解剖学会奨励賞受賞者（五十音順、敬称略）

氏名	申請課題	該当分野	所属
かがわ よしてる 香川 慶輝	腫瘍増殖メカニズムにおける核内脂質動態の意義の解明	細胞生物学・神経解剖学	東北大学大学院医学系研究科器官解剖学分野
さいとう ゆりか 齊藤百合花	凍結技法による観察を基盤とした動的組織構造の制御メカニズムの研究	組織学・細胞生物学・神経解剖学	帝京科学大学医学教育センター
ただ たけし 谷田 任司	内分泌・代謝シグナル制御因子の可視化とその機能解析	細胞生物学	京都府立医科大学大学院医学研究科解剖学教室生体構造科学部門
つづみ まさひろ 堤 真大	股関節の臨床解剖学的研究	肉眼解剖学	東京医科歯科大学臨床解剖学分野
はっとり ゆうき 服部 祐季	胎生期脳におけるミクログリア分布の時空間的制御とその生理学的意義	発生学	名古屋大学大学院医学系研究科細胞生物学分野

令和2年度日本解剖学会認定技術者功労賞受賞者（五十音順、敬称略）

氏名	所属
ありむら かずと 有村 和人	愛知医大・解剖学

⑥内外学術団体との協力ならびに連絡

共催	・ABiSシンポジウム「電子顕微鏡イメージングの最先端と未来」
後援	・第12回形態科学シンポジウム（COVID-19感染拡大により中止） ・第40回人体解剖トレーニングセミナー（COVID-19感染拡大により中止） ・第39回岐阜シンポジウム
協賛	・日本顕微鏡学会第76回学術講演会、第63回シンポジウム ・3次元画像コンファレンス2020、2021

⑦技術者認定

資料に基づき、1，2級技術者合格者が報告され、了承された。

1級技術者合格者（五十音順、敬称略）

氏名	所属	種別
ささき ひでのぶ 佐々木秀信	獨協医大・献体事務室	解剖
すぎうら まこと 杉浦 真琴	東京医歯大・歯・硬組織構造生物学	細胞組織

2級技術者合格者（五十音順、敬称略）

氏名	所属	種別
ありむら かずと 有村 和人	愛知医大・解剖学	解剖・細胞組織
いりえ りえ 入江 理恵	鹿児島大・医・形態科学	細胞組織
おおつか ようすけ 大塚 洋輔	東北大・医・器官解剖学	解剖・細胞組織
おおさま きょうじ 大山 恭司	東京医大・組織・神経解剖学	細胞組織
くぼ かずひろ 窪 和寛	福岡歯大・総務課教育・研究等支援係	解剖
そのだ よしこ 國田 佳子	愛知医大・解剖学	解剖・細胞組織
たがみ あやこ 田上 文子	愛知学院大・歯・解剖学	細胞組織
なかだ たかゆき 中田 貴之	金沢医大・アナトミーセンター	解剖・細胞組織
本多 信彦	名古屋市大・医・統合解剖学	解剖

4. 令和2年度決算および会計監査報告の件

資料に基づき、牛木常務理事より令和2年度決算について報告された。また、2021年2月10日に行われた独立監査人による財務諸表等に対する監査報告書と第8期事業年度における会計及び事業の実施状況の監査報告書内容が藤本監事より報告された。審議の結果、承認された。

5. 令和3年度予算および事業計画の件

資料に基づき、牛木常務理事より令和2年度決算について報告された。また、渡辺常務理事より、令和3年度事業計画が説明された。審議の結果、承認された。

6. 令和4年度予算執行の件

資料に基づき、令和4年1月から3月までの予算執行の決定に関する理事会への一任について提案され、承認された。

7. 第128・129回（令和5・6年度）総会・全国学術集会開催担当校の件

第128回総会・全国学術集会担当校に東北大学、会頭に器官解剖学の大和田祐二氏を、第129回総会・全国学術集会担当校に琉球大学、会頭に分子解剖学の高山千利氏が推薦され、承認された。

8. 令和3・4年度役員選任の件

資料に基づき、日本解剖学会令和3・4年度役員選出選挙の投票を受けて2020年10月21日に行われた選挙管理委員会による開票結果が報告された。この選挙結果を受けて新理事による理事会が開催され、互選により理事長に渡辺雅彦、常務理事に木山博資、寺田純雄、仲嶋一範、福田孝一が選出され、承認された。また、新理事長により役員選出細則第8条に基づく男女共同参画の見地からの指名理事として、城戸瑞穂（佐賀大）と徳田信子（獨協医大）が指名され、承認された。渡辺新理事長より挨拶が述べられた。

9. その他

特になし。

V. 第127回（令和4年度）日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況

資料に基づき、佐藤真次期会頭（大阪大）より大会テーマ（「命の基を観解く」）、大会期間（2022年3月27日～29日）、開催会場・方法（大阪大学箕面新キャンパス・箕面市立文化芸能劇場とWeb配信のハイブリット開催）、プログラム委員会などの第127回（令和4年度）日本解剖学会総会・全国学術集会準備状況が報告された。なお、Web配信のハイブリット開催であるが、特に若手研究者の交流や人脈を広げるために、若手研究者の口演やポスター発表に関しては対面形式で可能な限り行う方向で検討していることが説明された。

閉会の辞

議長（木山博資）より、閉会の辞が述べられた。

上記の2021年度 定時社員総会の議決および確認事項を明確にするため、この議事録を作成し、議事録署名人はここに記名押印する。

2021年 月 日

一般社団法人 日本解剖学会

議長

署名人

署名人